

令和8年8月7日

支出負担行為担当官
大阪航空局長 梅澤 大輔

「空港用125型救急医療搬送車2台の製造（北九州空港、宮崎空港向け）」質問回答書

標記の仕様書等に関する質問事項について、下記のとおり回答致します。

記

	質問に関する入札説明書、 特記仕様書等の記載箇所	質 問 事 項	回 答
1	3.6.4 空気調和装置	今回検討している空調機器は、微燃性（A2L）冷媒であるR32を使用します。今までの納入時まで使用させていただいていたR410は地球温暖化係数が高く、使用制限が掛かっていることから空調メーカー全てR32冷媒を使用しています。R32冷媒を使用する場合は、JRA GL-16に基づき、冷媒漏えい時の最大冷媒濃度および適用可能床面積の算出を行う必要があります。しかしながら、本ガイドラインは一般的な建築物への設置を前提としており、車両へ搭載する場合の適用可否については明確な記載がなく、特記仕様書にも関連する記載は確認できませんでした。つきましては、本案件は空港で使用する車両への搭載を予定しており、かつ微燃性（A2L）冷媒を使用する機器となることから、JRA GL-16の適用可否および必要な対応についてご指示いただけますでしょうか。	空調機の使用用途から、トレーラ搭載の空調機本体からダクトにて仮設テントへの空調を想定しており、JRA GL-16の想定している設置環境とは異なるため、適用外と考えています。詳細については、契約後の納入仕様により製造者の意見を参考の上決定といたします。